

◎ 教育にへき地なし！～黒島中学校交流学习～



黒島中 6 名の全校生徒

「地域にへき地はあっても、教育にへき地なし」
昔、へき地 5 級地と呼ばれる小中学校に勤務していた時によく耳にした言葉です。

へき地とは、「交通・通信条件が悪く、経済・文化などの諸条件に恵まれない山間地や離島など」をいいます。前述した学校も本土から船で 2 時間。小学生 18 名、中学生 15 名の小さな学校でした。小学校には担任の先生が 3 人しかいなくて、1 人が 2 つの学年を受け持っていました。また、春の歓迎遠足は、「おにぎり」と「鍋」と「みそ」を持って近くの浜辺に行き、そこで釣った魚で味噌汁を作って食べました。プールのない学校の水泳の授業は、桟橋から海に飛び込んで潜り、さざえを取ってくるものでした。自分たちで魚をさばき、家でも漁に出ている両親のために夕食を作っていました。保護者の方々も意識して、たくましく生きる子どもたちを育てられていま

した。それは、中学校を卒業すると全員が島を離れ、一人で暮らすことになるからです。それが、小さな離島で生活する子どもたちの宿命でした。島には、都会にあるものは何もないけれど、都会にはない「助け合う心」と「生きる力」を教育する環境がたくさんありました。「教育にへき地なし」を学んだその学校も、とうとう今年は中学生がいなくなり、小学生が 6 名のみとなりました。離島の少子化は待たなしで進んでいます。

11月6日(月)、黒島中学校の全校生徒 6 名(1 年生 1 名・2 年生 3 名・3 年生 2 名)が交流学习で中里中学校を訪れ、各学年の教室と一緒に授業を体験しました。いつもは 6 名だけで、学校行事も生徒会行事も部活動も取り組んでいます。先月行われた「駅伝大会」も全員で参加し、現在は来週行われる「市中学校音楽発表会」の練習に頑張っているそうです。黒島の風土で育まれた素直で優しい生徒たちから、本校の生徒たちも多くのことを学んだことだと思います。

◎ 3 年生「進路決定」のスタート！

今週から 3 年生の三者面談が始まりました。いよいよ受験する高校を決定する時期になりました。

〈近隣高校の状況〉

3 年生では、1 年間に 3 回の県教育委員会による公立高校進路希望調査が行われます。右の表は、第 2 回(10/2 実施)の調査結果で、近隣高校の状況を示したものです。高校(学科)によっては希望者が多く、合格には厳しい状況も見られます。高校は、その後の進路の通過点です。自分の能力を伸ばすことができ、充実した三年間が過ごせる高校を、そして、「行ける高校」ではなく、本当に「行きたい高校」を選択することが大切です。そして、合格を手にするには、**学力**だけでなく**自律した生活態度**が必要なのは言うまでもありません。

第 3 回の進路希望調査は 12 月に行われます。倍率に一喜一憂することなく、希望を叶えるための不断の努力を重ねてほしいと思います。

高 校 名	定 員	希 望 者
佐世保北高校	1 2 0	129
佐世保西高校	2 4 0	270
佐世保工業高校	2 4 0	325
佐世保商業高校	2 0 0	236
清峰高校	1 6 0	224

(10/2 現在)

◎ 健闘及ばず！～県ソフトテニス新人大会～



11月4・5日の二日間、相浦の総合グラウンドで「県中学生ソフトテニス新人大会」が開催されました。市大会を勝ち抜いて出場した男子ですが、4 日に行われた団体戦はベスト 8 で、5 日の個人戦では「松尾・中尾ペア」がベスト 16 で敗れ、惜しくも九州大会出場を逃しました。今後の活躍が大変楽しみです。期待したいと思います。

◇つんの～で歩行ラリー◇

期日: 11 月 12 日(日)

日程: 受付 9:00 ～ 9:30
開会行事 9:30 ～ 10:00
閉会行事 14:30 ～

会場: 中里小グラウンド

